

千葉大学医学部附属病院で乳房切除術を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年4月15日

乳腺外科

乳腺外科では、「乳房切除術における barbed suture 系の有用性の検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2022年11月1日～2024年2月29日の間に乳癌の治療として
乳房切除術を受けられた方

1. 研究課題名

「乳房切除術における barbed suture 系の有用性の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2024年10月30日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

閉創に最適な縫合系を用いることで手術時間を短縮させ、より効率的な手術を目指すことを目的としています。そのために、2022年11月1日から2024年2月29日の間に、乳癌に対する治療として当院で行われた乳房切除術の手術動画と診療録を参照し、閉創に要した時間と創部合併症の種類・発生頻度について、縫合系による違いを調べます。

4. 研究に用いる情報の種類

手術動画、年齢、性別、術式、術後の創部合併症の有無と種類

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究機関：千葉大学医学部附属病院 乳腺外科

研究責任者：講師 藤本浩司

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院乳腺外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

乳腺外科 講師 藤本 浩司

043（222）7171 内線 6731